

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科

高度教職実践専攻入学試験

(一般入試(前期日程): 筆記試験(教職教養))

問題用紙

注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 以下の文章は、誰の教育思想や理論について述べたものか。その人物の名前を回答欄に書き入れなさい。

- (1) 「玉座の上にあっても木の葉の屋根の陰に住まっても同じ人間」と『隠者の夕暮れ』で書いたように、人間は平等であり、貧富の差なく、等しく教育を受ける機会が保障されるべきであると考えた。
- (2) 「人間として生まれた者を一人残らず人間としてのあらゆる資格に向かって教育する」という普遍的教育を目指し、教育を体系的に記した『大教授学』を表した。
- (3) 民主主義の実現には、それを担う人々を育成することが必要であり、学校は社会とのつながりを意識し、実際に小さな共同社会として、「萌芽的共同社会生活」が実現されるべきである。
- (4) 6歳から12歳ぐらいまでの小学校の児童に該当する時期の思考や知能の発達は、その前段に当たる自己中心性から脱しているが、具体的な事象を離れて言語による論理的・抽象的思考はまだできない「具体的操作期」に当たる。
- (5) 道徳性の発達は三レベル六段階があるが、第三レベルでは、道徳的価値や原理は、集団や人間の権威、また、集団との一体感から区別し、なお妥当性を持ち適用されるようなものとして想定しようとする明確な努力がみられる。

問2. 以下の文章の空欄（①）～（⑤）に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

1872年にわが国最初の学校制度を定めた「学制」公布は、前文ともいわれる（①）を付しておこなわれた。ここでは江戸時代の古い学問観を払拭するため、国民皆学、立身出世主義などが掲げられた。「学制」は全国を8つの（②）に分けるなど強引な学校教育の拡大をねらったが、急激な変革や学校教育への負担増のため国民が不満を募らせ制度を十分行き渡らせる事は出来なかった。1879年、教育令により就学義務を学齢期間中少なくとも（③）か月とするなど大幅な規制緩和をおこなった。ところが就学率の急激な低下を招くなど新たな問題が起き、翌年の改正教育令では就学義務を最低（④）か年間とし、小学校の学科の冒頭に（⑤）を置いた。

問3. 以下は教育基本法第6条の条文である。空欄（①）～（⑤）に当てはまる適切な語句をそれぞれ解答欄に書きなさい。

法律に定める学校は、（①）の（②）を有するものであつて、（③）、（④）及び法律に定める（⑤）のみがこれを設置することができる。

問4. 以下の文章の（ 1 ）～（ 3 ）について、それぞれあてはまる記号を解答欄に書きなさい。

(1) ADHD（注意欠如・多動性障害）についての説明で、誤りであるものを選びなさい。

- ア 学業において集中できない結果、不注意な間違いをする。
- イ よく持ち物を忘れたりする。
- ウ 手足をそわそわと落ち着き無く動かすことが多い。
- エ 知的レベルに比較して極端に読字に困難を来すことが多い。
- オ 遺伝的要因が関与している。

(2) 以下は、「令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（文部科学省、令和4年）の結果を表した文章である。次のうち、誤りのあるものはどれか。

- ア この調査によると、小中学校児童生徒の不登校は8%を超えた。
- イ この調査によると、不登校児童生徒の63.7%が、学校内外の機関等で相談・指導等を受けている。
- ウ 不登校児童生徒のうち、自宅でICT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いにすることはできるが、学校側の理解も進み、令和3年に増加した。
- エ 児童生徒の自殺は、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、令和2年に415人と大幅に増えた後、減少したが、依然多い。
- オ いじめの認知件数は、児童生徒1,000人当たり47.7件で、前年度より増加している。

(3) 教科指導中に、ある子どもの行動に気づきました。その行動はなぜおきるのか等、教師として実態把握をする上で、実施可能であれば、どの検査を行うといいか、もつとも適切な組み合わせはどれか。A群とB群の組み合わせで適切なものを、選択肢ア～オから選びその記号を書き入れなさい。

A群

- a. 図やイラストで説明されればわかるが、言葉だけの説明だと理解が深まらない。
- b. 自分のことはさっさと出来るが、友達との関係がぎくしゃくすることがある。
- c. 数学が得意なのに物語の読解が苦手。
- d. 新出漢字をマス目のある黒板に書いて写させたとこ、マスの線まで書いてしまう。
- e. 作文を書くとき、事実は書くが、様子は詳しく書けない。

B 群

- ①ウエクスラー系知能検査 (WISC-IV等) ②フロスティック視知覚検査
③絵画語彙検査 (PVT-R) ④K-ABC ⑤SM 社会生活能力検査

選択肢

- ア. a.-③ b.-④ c.-② d.-⑤ e.-①
イ. a.-② b.-① c.-③ d.-④ e.-⑤
ウ. a.-① b.-② c.-④ d.-③ e.-⑤
エ. a.-④ b.-⑤ c.-① d.-② e.-③
オ. a.-⑤ b.-② c.-① d.-④ e.-③

問5. 以下の (A) ~ (D) のそれぞれの領域について、いずれかの語句を選び、その説明を
解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ語句をそれぞれ記入すること。

- 領域 (A) ☐ 個別最適な学び
 ☐ 部活動指導員

- 領域 (B) ☐ 二宮尊徳
 ☐ 超勤4項目

- 領域 (C) ☐ 指導主事
 ☐ 司書教諭

- 領域 (D) ☐ 起立性調節障害
 ☐ 自己調整学習